

事業種類	農業基盤整備		事業名	県営畑地帯総合土地改良事業			
市町村名	川上村	ふりがな 箇所名	ごしやいらうずみはらちく 御所平埋原地区		工 期 (年 度)	当 初	H10 ~ H16
当 初 事 業 費	2,430,000 千円		費 用 対 果 効 果	当 初	1.2	実 績	H10 ~ H19
最 終 事 業 費	1,617,000 千円			評 価 時	2.0		完 了 後 経 過 年 数
事 業 化 の 目 的	限られた期間の中で、品質の高い野菜を栽培するため、畑地かんがい施設を新設し併せて農道と排水路を一体的に整備し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。						
事 業 等 経 過	当 初 計 画 内 容	畑地かんがいA=243ha 農道工 L=6,920m 排水路工 L=3,550m					
	最 終 事 業 内 容	畑地かんがいA=243ha 農道工 L=3,093m 排水路工 L=2,530m					
	変 更 理 由	農道と排水路について、受益者負担軽減のため地元と調整し、実施延長が減となった。					
評 価 項 目							ラ ン ク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							B
畑地かんがい施設の整備により、計画的な作付けが可能となり、良質な高原野菜が安定して生産されている。また、農道整備により、農作物の集出荷所への流通経路が整い、時間短縮及び荷傷み等による品質低下が解消されるとともに、排水改良により浸水被害等の軽減が図られた。							
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)							B
主要工事が畑地かんがいのため、管路は地中に埋設されており、自然環境の変化は少ない。							
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない)							A
農道及び排水路については川上村が管理している。畑地かんがい施設については、御所平埋原地区灌水組合が維持管理している。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							A
事業の完成結果について、満足・概ね満足・普通を合わせると8割以上の方が評価している。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)							B
今年度は干ばつであったため、畑地かんがい施設の効果は発揮しているものの、取水溪流の水量が少なく、散水時間の調整等が必要となり、配水池の水量不足を指摘する意見があった。配水池の増設については、取水溪流の水量が少ないことが原因であるため、事業効果を十分に検討する必要がある。さらなる農道改良・舗装、排水路整備を求める声があるが、必要性や事業効果を十分に検討する必要がある。なお、排水路整備の要望箇所については、他事業により対策が図られている。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している —:特になし)							—
特になし。							
部 意 見	畑地かんがい施設や農道・排水路が整備され、農業用水の安定確保や農作業環境の改善、排水不良による浸水被害の防止など、高品質な野菜の安定生産に効果を発揮している。			行 政 改 革 課 意 見	農業生産性の向上と農業経営の安定に一定の効果が認められる。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
地域農業を支える担い手に安心して農業に取り組んでもらえるよう、昭和40年代から50年代に整備され老朽化してきている畑地かんがい施設や農道・排水路を引き続き計画的に更新・整備する必要がある。							

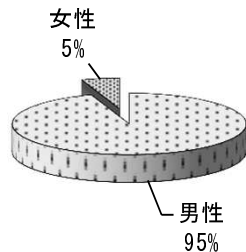
アンケートの方法及び対象

・川上村(御所平地区他)の住民120人に対し、アンケートを実施した。

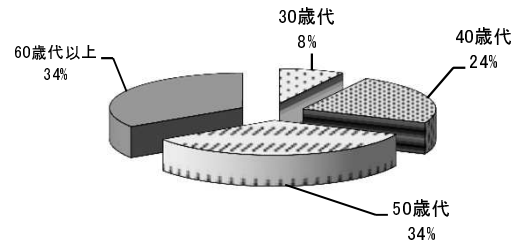
配布数	120
回収数	38
回収率	32% (男性 95% 女性 5%)

アンケート結果

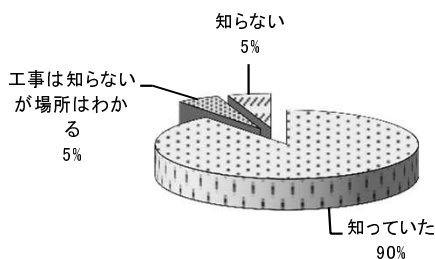
問1 性別



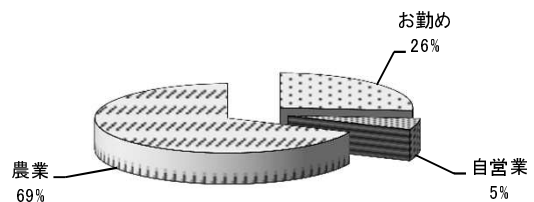
問2 年齢



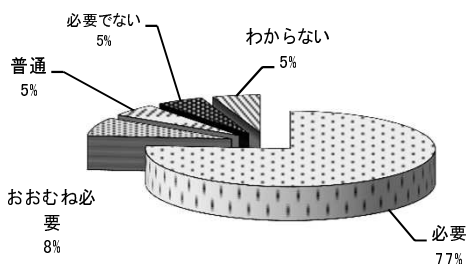
問5 事業の認知度について



問3 職業



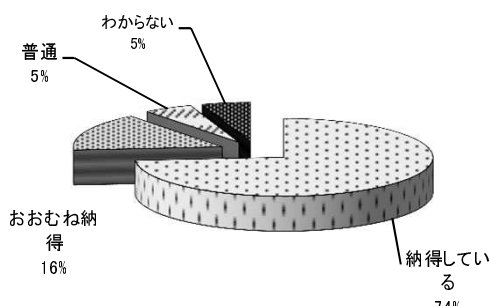
問6 事業の必要性について



問6-2 主な理由

- ・河川や湖沼等の水源がなく、干ばつ被害を受けやすい地域で畑地かんがい施設は必須。
- ・干ばつになった時に水をかけられる事はとても良い。
- ・野菜栽培に当たり高品質の品物を作るには、水は欠かせない。
- ・生産量も経営も安定し、干ばつの心配が少なくなった。
- ・地球温暖化の中で水は最も必要なもの。
- ・異常気象の中でも安定した生産を確保する為。
- ・野菜の栽培をするうえで水があるのと無いのでは、全然違う。
- ・村の基幹産業である農業には水が必要不可欠だから。

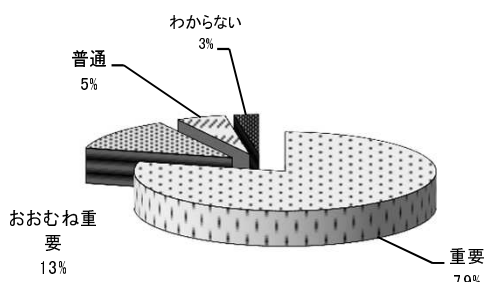
問7-1 税金の使用



問7-2 主な理由

- ・安定した農業生産となり、消費者に対して安定した価格で、新鮮な野菜が供給できるから。
- ・村の基幹産業であるから。
- ・指定産地として食の安定を維持する為の公費は必要。
- ・私達の地区の改善であるから。
- ・全てが受益者負担だと工事は出来なかったと思う。
- ・困った時に役立つという事が国民にとって意義があると思う。
- ・水は必要、けれども借金は孫子の負担になる。
- ・(工事の場所を) 知らなかったから (わからない)。

問8-1 地域社会にとっての重要性について

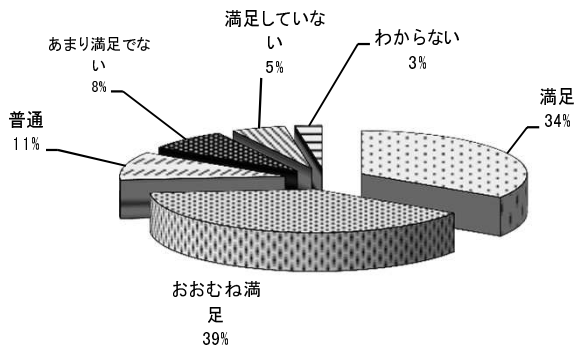


問8-2 主な理由

- ・安定的に定植でき、出荷も安定する。
- ・野菜の安定供給につながる。
- ・野菜産地として圃場の条件を良くすることは大変重要である。
- ・レタス、白菜、その他野菜の安定生産となる。
- ・地域の活性化には重要な施設だと思う。
- ・かんがい施設や農道、排水路は我々の仕事のし易さから重要。
- ・地域の産業に貢献している。
- ・産地生産が安定し野菜販売が有利になるから。
- ・レタスの産地としての供給確保と、後継者も頑張っており、次世代の人たちもしっかりとした農業経営ができる。

アンケート結果

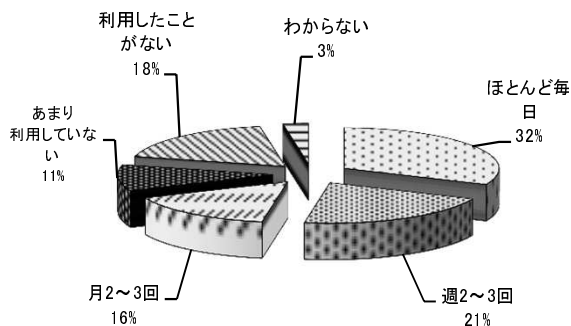
問9-1 事業の完成結果について



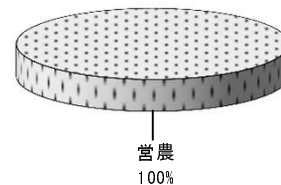
問9-2 主な理由(改善点)

- ・灌水により生産量がアップしている。
- ・天候の影響が抑えられ、安定した作物作りができる。
- ・安定的に定植でき、出荷も安定する。
- ・干ばつの時水量の足りない事があり残念。
- ・必要な時が重なる為水不足になる。
- ・排水路の整備がもう少し必要だと感じる。
- ・どのほ場へ行っても施設があるので便利に使える。
- ・干ばつ時に大いに活躍してくれている。
- ・必要な時に水がまける。

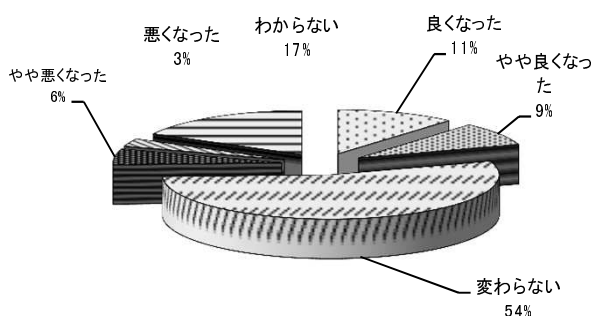
問10-1 当該施設の利用回数



問10-2 利用目的



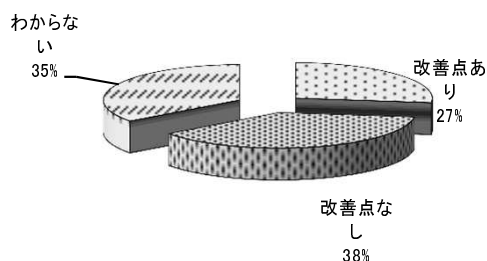
問11-1 自然環境の変化について



問11-2 主な理由

- ・山の頂上にコンクリートの配水池が見える。
- ・灌水施設は地下に埋まっているので目立たない。
- ・悪くなったとは思わないから。
- ・野菜に水は不可欠だから。
- ・水に困った時いつでも使用できる。
- ・雨が降ると道路が洪水になる。

問12-1 工事についての改善点



問12-2 主な理由

- ・貯水タンクが2ヶ所あるが、皆が使うと一方の水量が落ちる。
- ・水を十分使えない事がある。
- ・排水計画の見直し。
- ・配水池の増設。排水路、支道の増設、整備。

問9 その他ご意見・ご要望

- ・出来れば、別の事業で、道路、排水路等まだ出来てない場所の工事の検討をお願いしたい。
- ・御所平は畑が数ヶ所にあるので集約化が出来れば、省力化が可能になるのですが。
- ・農道など新規事業はよいが、旧道などの整備や拡張工事を行ってほしい。
- ・農業施設の充実は、日本農業にとって重要であると思う。食料の自給率向上は将来非常に重要。
- ・公共事業の手続きを簡素化してほしい。
- ・他の事業も計画、調査をしてもらいたい。

施工前写真



施工後(現況)写真

